



(参考仮訳)

プレスリリース No. 08/286
即時解禁
2008年11月15日

国際通貨基金 (IMF)
米国・ワシントン DC

**IMF ドミニク・ストロスカーン専務理事、
G-20 アクション・プランを国際協調の強化に向けた大きな一歩と評価**

ドミニク・ストロスカーン国際通貨基金(IMF)専務理事は本日、G-20 金融・世界経済に関する首脳会合で合意されたアクション・プラン（行動計画）について、国際金融危機の解決とその努力に対する IMF の機能向上に向け、より強い協力体制を構築するために、国際社会が大きく一歩踏み出したものだとして、同首脳会合の成果を歓迎した。

「本日のサミットは出席者の顔ぶれからも意義深いものであった。新たな国際経済秩序は、これまでになく、よりダイナミックでより包括的なものへと変化している」とストロスカーン氏は述べた。「サミット会合はまた、合意内容を鑑みても有意義であった。今週末の会合の最も重要な成果は、アクション・プランが合意されたこと、そして、同プランを積極的、徹底的に実施すると全出席者がコミットしたことにある。IMF も G-20 の要請を受け、こうした努力を強力に支援していく」

「危機管理と国際金融アーキテクチャーの改革における IMF の重要な役割について、G-20 の首脳が強く支持したことを歓迎したい」と、ストロスカーン氏は述べた。

「IMF は、困難な状況に陥っている加盟国に対して迅速かつ有効な支援を提供しているほか、新たに短期流動性ファシリティを設立した。また IMF の制度やファシリティの見直しも継続して行っている」

ストロスカーン氏は、G-20 の首脳が金融・財政政策を活用して、国際マクロ経済の課題解決にむけて協働することを決意したと述べた。同氏はインフレリスクの低下で金融政策に緩和の余地があると指摘したが、さらに、このことは重要ではあるが、同時に十分ではない、とした。

「財政刺激策が強調されたことを歓迎したい。これは世界経済の回復に不可欠であると考え」と、ストロスカーン氏は語った。「各国が財政刺激策を行う際、その国の主要貿易相手国も同様に財政刺激策を実施することで、国内成長に対する押し上げ効果は倍増することが期待できる」

また同氏は、首脳会合の宣言は、国によって政策実施の余地に差があることを認識していると指摘した。「先進国・新興国のなかで、最も強固な財政政策の枠組みがあり、財政拡張の財源を最も確保でき、債務水準が最も明確に持続可能である諸国が、先頭に立つべきである」と同氏は語った。

また、ストロスカーン氏は、IMFの財源と機能の強化に対するG-20首脳の決意を歓迎した。これに関連して、同氏は、危機に直面した国々に対するIMF融資を支援するとして、最大1,000億ドルの資金をIMFに提供する、と表明した日本の寛大な提案に対し、麻生首相にあらためて謝意を表した。

ストロスカーン氏は、マクロ経済のサーベイランス(政策監視)や支援を要する加盟国への融資、新興市場・開発途上国のキャパシティ向上への支援といった分野におけるIMFのマンドートの強化について、G-20の支持があったと述べた。「G-20のすべての国が、金融セクター評価プログラム(FSAP)の実施を公約したことが特に喜ばしい」と同氏は続けた。「IMFは、G-20の中で、FSAPを実施していない国において、FSAPを早急に行う用意がある」とした。

ストロスカーン氏は、マクロ経済および金融部門に関する政策助言を行うというIMFの役割を強化するとの合意があったことを歓迎した。この中にはIMFや他機関が規制政策における景気循環の増幅効果(プロシクリシティ)の緩和について提言することが含まれている。「これは今という時期において、非常に重要である」と同氏は述べた。

同氏はさらに、G-20は今後12ヶ月間、貿易並びに投資に対する新たな障壁を設けないとコミットしたと述べた。「開かれた貿易と投資は、成長のために非常に重要である」と同氏は続けた。

「この度の宣言は、IMF、世界銀行、他の国際開発金融機関が、加盟国の危機克服への支援にむけて十分な財源を確保できるよう世界が取り組んでいる、という重要なシグナルを送っている」とストロスカーン氏は語った。

ストロスカーン氏は、さらに、今回のアクション・プランでは、プランの実施に際してのIMFの役割にも言及しており、2009年3月31日までに早急実施すべき事項が含まれていると述べた。同氏は、金融市場改革の基本方針での合意、特に、国際協力の強化へのコミットメントを評価した。「金融市場改革におけるIMFの役割は、国際金融システムの監視という我々の責務に基づいており、これは本来のブレトン・ウッズ合意にも盛り込まれているものである」と同氏は述べた。「また、

こうした IMF の役割は、金融市場と実体経済の相関関係を分析するという我々の能力にもよるところである。我々はこの相関関係の重要性を既に認識しており、世界もこの関係に対する理解を深めなければならない。IMFはそのための努力を惜しまない」

「多くの国が、直接、もしくは IMF といった世界のほぼすべての国を代表している国際機関を通して、今回議論を行ったことを喜ばしく思う。また、初回の議論がこのような形で終了したことを非常にうれしく思っている」とストロスカーン氏は述べた。